

1. 件名：ALPS 処理水の分析結果に関する面談
2. 日時：令和5年2月22日（水）17時00分～18時00分
3. 場所：原子力規制庁 6階会議室
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部
東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
正岡企画調査官、松田室長補佐、小西係長、塩唐松係長
吉田技術参与（テレビ会議システムによる出席）
日本原子力研究開発機構 安全研究・防災支援部門
担当2名（テレビ会議システムによる出席）
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所 担当2名

5. 要旨：

- 東京電力ホールディングス株式会社から、昨年3月にALPS処理水を貯蔵しているK4タンクから採取した試料について、以下のとおり資料に基づき説明があった。
 - 64核種（トリチウム、炭素14及び多核種除去設備による除去対象62核種）及び東京電力が測定・評価対象核種として新たに選定した3核種（U-234、U-238、Np-237）の分析結果
 - 第三者の分析機関として、化研による上記67核種の分析結果
- 原子力規制庁は、上記の説明内容を確認した。

6. 資料

- ・2022年3月採取_K4タンク分析結果
- ・【参考】202203採取_ALPSタンク分析結果 比較